

6 「未来を拓く人づくり」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	---	------------------

政策	1	豊かな個性を伸ばす教育環境づくり	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	15	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 子どもの個性や能力を最大限に引き出し、豊かな心を育成するためには、学校や地域全体で子どもを育む環境づくりに取り組むことが必要です。 このため、小中学校における少人数学級編制の拡大を行うとともに、スクールソーシャルワーカーの配置などに取り組みます。</p>					
		項 目	頁	担当部局	
平成24年度の主な取り組み状況		○ 小中学校における少人数学級編制の拡充	P.108	教育委員会	
		○ 学力把握調査の実施	P.108	教育委員会	
		○ 教員の資質向上の推進	P.108	教育委員会	
		○ 東部地域の高等学校の再編整備	P.109	教育委員会	
		○ 中高一貫教育校の設置の推進	P.110	教育委員会	
		○ やまなし特別支援教育推進プランの推進	P.110	教育委員会	
		○ 第2次やまなし食育推進計画の推進	P.110	企画県民部・ 教育委員会	
		○ スクールソーシャルワーカーの配置	P.111	教育委員会	
		○ 私立学校修学への支援拡充	P.112	総務部	
		○ 県立学校への冷房設備導入の推進	P.112	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		23,750 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		12,680 百万円		
	前年度までの事業費		5,509 百万円		
	本年度の事業費		7,171 百万円		
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	全国学力・学習状況調査の全国平均正答数との比較割合（小・中学校）	98.7% (H22)	100.0% (H26)	99.7% (H24)	76.9
	学校給食における県産食材の使用割合	23.2% (H22)	30.0% (H26)	35.9% (H24)	186.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 少人数教育の 拡充 【教：総務課】 【義務教育課】	教職員費 (項：小学校費) (882,478) 882,478 教職員費 (項：中学校費) (280,884) 280,884	きめ細かな指導を行うため、小学校1・2年生を対象に30人学級編制を、小学校3・4年生及び中学校1年生を対象に35人学級編制を実施した。 これにより、多くの小中学校で少人数学級編制を実施し、子どもの学力向上に寄与した。 ・小学校1～4年生、中学校1年生 小1 21校 小2 44校 小3 12校 小4 16校 (アクティブ 小1 2校 小2 1校 小3 0校 小4 0校) 中1 23校 (アクティブ 3校)
2 確かな学力の 定着・向上 【義務教育課】	教育指導費 (11,100) 9,348	児童生徒の学習のつまずきの状態を把握し、地域の中核となるパイロットスクールを中心に実践的な取り組みを行い、その成果を広く普及することにより、授業の改善等を行った。 これにより、少人数指導や繰り返し学習など授業づくりの工夫に努める学校が増加した。 ・学力向上推進協議会の開催 3回 ・学力向上パイロットスクールの指定 小学校5校 中学校5校 ・小3・小5・中2を対象に学力把握調査の実施 平成24年5月
3 教員の資質向上の 推進 【教：総務課】 【義務教育課】 【高校教育課】	教育指導費 (856) 559	実践指導力の向上や幅広い視野と識見を得るため、年間を通して研修を実施するとともに、評価制度を実施し、教員の資質向上を推進した。 これにより、教職員の意識改革と学校教育の充実に寄与した。 ・教員評価の実施 全県立学校 全公立小・中学校 ・大学・大学院等派遣研修等 国内大学、大学院留学生派遣研修の実施 19人 管理職研修校長等研修会、教頭研修会の開催 6回 民間企業等派遣研修の実施 1人 教職員等中央研修への派遣 41人 ・教科研修等 189講座

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 グローバル化社会に対応できる英語力の向上 【教・総務課】 【義務教育課】	教育指導費 (1,770) 1,571	<p>児童生徒にグローバル化社会に対応できる、豊かな国際感覚と英語によるコミュニケーション能力を育むため、地域の外国語に堪能な人材を活用するとともに、指導に当たる教員の資質向上に取り組んだ。</p> <p>これにより、外国語活動での児童への指導がよりきめ細かなものとなるとともに、英語教員の指導力の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を指導する小学校教員研修の実施 3 講座 ・英語教員海外派遣研修の実施 アメリカ (デンバー大学) に高等学校教員を派遣 1 人 イギリス (バーミンガム大学) に中学校教員を派遣 1 人 ・外国語に堪能な地域人材の活用 派遣人数 3 人 派遣回数 16 回 派遣校数 3 校 (小学校)
5 魅力と活力ある高校づくりの推進 【新しい学校づくり推進室】	学校建設費 (1,631,823) 1,495,348 [132,325]	<p>生徒数が減少する中で、魅力と活力ある高校づくりを進めるため、学校関係者や P T A を対象とした意見交換会や地域会議を開催し、地域の実情を踏まえながら、高等学校の再編整備、学科の改編を推進した。</p> <p>これにより、東部地域の新設高校について、より具体的に検討するとともに、中央高校の整備拡充、身延高校や峡南高校の学科改編を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域の再編整備 新設高校設置に係る検討会開催 5 回 新設高校作業部会開催 7 回 仮設校舎 (プレハブ) の建設開始 ・中央高校の整備・拡充 作業部会開催 3 回 平成 25 年 3 月に新校舎完成 平成 25 年度入試より定時制・普通科で三部制導入 ・学科の改編 身延高校を「普通科目を基軸とする総合学科」に改編 峡南高校を「電子機械科、クラフト科、土木システム科」に改編

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 中高一貫教育 の推進 【新しい学校づくり推進室】	—————	<p>本県の目指す中高一貫教育の方向性や設置時期等について検討し、県内初の中高一貫教育校の設置に取り組んだ。</p> <p>平成24年3月に審議会の答申を得て、中高一貫教育校設置に向けて検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携型中高一貫教育校の視察 2回（岐阜県、神奈川県）
7 特別支援教育 の推進 【新しい学校づくり推進室】	甲府支援学校等費 (155,839) 47,564 [103,536]	<p>「やまなし特別支援教育推進プラン」に基づき、障害に対応した豊かな学びの場を提供するとともに、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、かえで支援学校分教室が整備されるなど、高等部在籍者の増加に伴う教室不足の解消等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえで支援学校分教室の整備 開校 平成24年4月 ・ふじざくら支援学校の普通教室棟の増築 高等部普通教室棟増築の設計及び工事
8 食育運動の推進 【消費生活安全課】 【スポーツ健康課】	消費者行政費 (538) 362 学校保健費 (1,640) 1,155	<p>食育運動の基本的な方針や目標値を掲げた「第2次やまなし食育推進計画」に基づき、県民運動として食育を効果的に推進するための取り組みを進めた。また、児童生徒が、食に関する正しい知識などを身に付けるため、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、学校給食での地場産物の活用に向けた取り組みを推進した。</p> <p>これにより、地域団体や学校・保育所等が一体となって食育推進に取り組む気運がより一層高まるとともに、児童生徒・保護者の食に関する意識が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2次やまなし食育推進計画」の推進 ・食育推進シンポジウムの開催 平成24年6月 ・学校・家庭・地域が連携した食育の推進 食育シンポジウム・食育推進事業報告会 平成25年2月 <p>食育推進事業指定地域 2村 地場産品を含む料理教室、栽培活動、給食試食会、レシピ集の発行 等</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 地域と連携した教育環境づくり 【義務教育課】	教育指導費 (14,987) 13,878	<p>児童生徒の問題行動や心の問題に対応するため、社会福祉に関する専門的な知識を持つスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の置かれた様々な環境への働きかけを行った。</p> <p>これにより、284件の不登校等の問題行動に対応し、そのうち約43%が解決又は好転となり、児童生徒の問題解決に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの配置 4教育事務所 10人
10 生きる力を育む体験活動の推進 【高校教育課】	教育指導費 (17,000) 14,114	<p>自ら主体的に考え、判断し行動できる資質や能力を育てるため、地域の産業・教育機関・住民との連携等による体験学習活動を推進した。</p> <p>これにより、生徒に夢を持たせ、主体的な学習態度や、多様な価値観を育ませることに成果を上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的学習活動の推進 県立高校37校(全・定・通別)において159事業を実施
11 県立大学の一層の充実 【私学文書課】	—————	<p>地域ニーズや時代の変化に対応し、将来にわたり県民の期待に応えられる魅力ある大学づくりを進めるため、大学院機能の充実を含めた教育研究組織のあり方について検討した。</p> <p>これにより、県立大学の現状における課題等が整理された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の公立大学等の先進的な取り組み事例の調査 通年 ・大学との意見交換会 4回
12 私学教育の振興 【私学文書課】	私学振興費 (4,085,898) 4,082,141	<p>特色ある教育を行う私立学校の教育条件の維持向上や生徒等の経済的負担の軽減を図るため、私立学校運営費補助金の交付など、私立学校への支援を実施した。</p> <p>これにより、私立学校の安定的な運営に資するなど、私学教育の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校運営費補助による支援 小学校の補助単価の増額 1,444円/人 中学校の補助単価の増額 1,446円/人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果				
13 私立学校修学 への支援拡充 【私学文書課】	私学振興費 (45,727) 44,197	<p>経済的な理由により修学することが困難な生徒の経済的負担を軽減するため、低所得世帯の授業料を減免する私立学校への支援を実施した。</p> <p>これにより、私立学校に修学する低所得世帯の生徒の教育機会の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校授業料減免事業費補助金 補助金交付実績 <table data-bbox="762 595 1441 719"> <tr> <td>年収 250 万円未満程度世帯</td> <td>610 人</td> </tr> <tr> <td>年収 250 万円～350 万円未満程度世帯</td> <td>368 人</td> </tr> </table> (年度途中で所得階層が変わった場合は重複計上) 	年収 250 万円未満程度世帯	610 人	年収 250 万円～350 万円未満程度世帯	368 人
年収 250 万円未満程度世帯	610 人					
年収 250 万円～350 万円未満程度世帯	368 人					
14 県立学校の冷 房設備導入の 推進 【学校施設課】	学校建設費 (898,615) 297,162 [601,453]	<p>生徒たちに快適な学習環境を提供するため、昨年度策定した「県立学校冷房設備整備計画」に基づき、県立学校 13 校へ冷房設備の整備を進めた。</p> <p>これにより、県立学校の学習環境の改善に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校冷房設備の設置 (甲府・峡東地域 13 校) <table data-bbox="730 1106 1414 1184"> <tr> <td>設計委託業務</td> <td>平成 24 年 5 月～9 月</td> </tr> <tr> <td>冷房設置工事</td> <td>平成 24 年 12 月～平成 25 年 5 月</td> </tr> </table> 	設計委託業務	平成 24 年 5 月～9 月	冷房設置工事	平成 24 年 12 月～平成 25 年 5 月
設計委託業務	平成 24 年 5 月～9 月					
冷房設置工事	平成 24 年 12 月～平成 25 年 5 月					
15 学校の校庭芝 生化の推進 【学校施設課】	—————	<p>運動意欲の向上、けがの抑制など多くの効果のある校庭の芝生化の推進を図るため、県立学校においては、芝生化済みの学校に現在の取り組み状況調査を行い、調査研究を進めた。また、公立小中学校に対しては、助成制度等の情報を提供し、普及・啓発を行った。</p> <p>これにより、校庭の芝生化の効果や問題点などが明らかになり、今後の整備の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校の校庭芝生化 芝生化済みの県立高校に対する実態調査の実施 平成 24 年 6 月 ・公立小中学校の芝生化 助成制度等の情報提供 随時 				

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	---	------------------

政策	2	生涯を通じて学ぶ環境づくり	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 生涯を通じて学ぶことができ、生きがいのある充実した人生を送ることができる生涯学習社会の実現が求められています。 このため、県民誰もが自主的・主体的に生涯学習に取り組めるよう、多様な学習機会の提供や生涯学習施設の充実を図ります。</p>					
平成24年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 新県立図書館の整備		P.114	教育委員会	
	○ 博物館等における郷土学習関連事業の実施		P.114	教育委員会	
	○ 生涯学習推進センターを拠点とした生涯学習活動の支援		P.115	企画県民部	
	○ 放課後子どもプランの推進		P.116	教育委員会	
	○ 青少年の自然体験活動の実施		P.116	教育委員会	
	○ 若者による地域活性化プロジェクトの実施		P.116	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			5,680 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,609 百万円	
	前年度までの事業費			3,361 百万円	
	本年度の事業費			1,248 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	県立文化施設（美術館、博物館、考古博物館、文学館）で行われる郷土学習関連事業参加者数	18,439 人 (H22)	25,000 人 (H26)	24,303 人 (H24)	89.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 新県立図書館 の整備 【新図書館建設室】	図書館費 (2,698,034) 1,169,362	県民の自主的な学習・文化活動を支援し、山梨の文化や情報の発信拠点となる新県立図書館を開館した。 これにより、想定を上回る利用者の来館を得て、多様な知的活動の支援拠点としての機能を果たすこととなった。 ・建物整備 建設工事 平成22年10月～平成24年3月 外構工事 平成22年10月～平成24年5月 開館 平成24年11月 ・備品、情報システム整備 ・施設管理業務等の指定管理者への委託 平成24年11月1日～平成29年3月31日
2 郷土の歴史・ 文化を学ぶ機 会の充実 【生涯学習文化課】	社会教育振興費 (671) 666	山梨の歴史や文化への知識を高めるため、生涯学習推進センターにおいて本県の歴史・文化・民俗などに関する学習機会を提供した。 これにより、多くの県民が郷土の歴史等を学ぶ機会を得て、郷土に対する誇りを再認識することに寄与した。 ・山梨学講座の開催 5回 参加者 348人 ・やまなし再発見講座の開催 21回 参加者 1,046人 ・出前講座 2回 参加者 188人
3 博物館等郷土 学習の推進 【学術文化財課】	考古博物館費 (460) 356 文学館費 (393) 363 博物館費 (815) 806	県民が郷土を知り、郷土を愛する心を育てるため、県立博物館等で実施される郷土学習関連事業への参加を促進した。 これにより、各館で様々な郷土学習関連事業のメニューを実施し、24,303人の参加を得た。 ・各館における郷土学習関連講座等の実施 山梨の文学散歩、史跡文化財セミナー 外全66回 ・博学連携による郷土学習の推進 考古博物館 チャレンジ博物館 14回 276人 外 博物館 郷土体験プログラム 15回 777人 自由研究プロジェクト 1回 842人 外 合計 24,303人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 生涯学習機会の充実 【生涯学習文化課】	社会教育振興費 (51,816) 50,754	<p>生涯学習に対する幅広いニーズに応えるため、生涯学習推進センターを拠点に市町村や大学、NPOと連携した多様な学習機会の提供やインターネットを活用した学習情報の提供など、県民の学習活動を支援した。これにより、県民の生涯にわたる学習機会の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進センターでの各種講座の開催 147 講座 442 回 参加者 9,105 人 「キャンパスネットやまなし」による講座情報の提供 連携機関 308 箇所 講座情報誌発行 4 回 奨励賞受賞者 351 人 「やまなしまなびネットワークシステム」による学習情報の提供 掲載情報数 12,289 件
5 社会教育関係団体の活性化 【社会教育課】	社会教育振興費 (800) 771	<p>地域における教育力の向上を図るため、社会教育振興フォーラムの開催や体験交流など、社会教育関係団体が行う取り組みを支援した。これにより、社会教育振興フォーラムに多数の参加者を集めるとともに、体験交流活動の開催に当たって、参加者数を増やすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育振興フォーラムの開催 平成 24 年 11 月 参加者 105 人 体験交流活動の実施 4 地区 8 箇所で実施 参加者延べ 390 人 指導者の養成 4 回実施 参加者延べ 295 人
6 やまなし学校応援団の育成 【社会教育課】	—————	<p>教員が子どもと向き合う時間を増やし、住民の学習成果の活用機会の充実及び地域の教育力の活性化を図るため、地域が学校を支援する体制づくりを推進した。これにより、学校応援団の活動への理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会の実施 平成 24 年 11 月 参加者 88 人 市町村が行う学校応援団への支援 講演会への講師紹介 先進的な学校支援事例を紹介したホームページの作成・公開

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 放課後子ども プランの推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (20,881) 20,142	<p>子どもたちが安全で健やかに過ごせる居場所を確保するため、放課後や週末に、勉強やスポーツ・文化活動などを行う「放課後子どもプラン」を推進した。</p> <p>これにより、平成24年度に放課後子ども教室実施市町村と開催教室数を増やすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会の開催 3回 参加者 71人 ・研修会の開催 5回 参加者 486人 ・市町村が行う放課後子ども教室への支援 学生ボランティア活用支援 各種教室へ大学生を派遣 140回 参加学生数延べ 453人
8 青少年の体験 活動の推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (2,538) 2,507	<p>心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、洋上生活体験や八丈島における自然体験活動を通して友情・連携・奉仕の精神を涵養するとともに、地域リーダーとしての資質向上を図った。</p> <p>これにより、国立青少年教育振興機構のIKR「生きる力テスト」で事前から事後にかけて10.5ポイント向上し、本事業により子どもたちの「生きる力」が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修（班編制、野外炊さん活動） 平成24年6月 参加者 50人 ・現地研修（野外生活体験活動） 東京都八丈島で実施 平成24年8月 参加者 50人 ・事後研修（小中学生交流活動） 平成24年8月 八丈小中学生との交流等
9 若者による地域 活性化プロジェ クトの推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (2,400) 2,059	<p>中心市街地の活性化とともに、将来の地域リーダーとしての資質向上を図るため、大学生を中心とした若者による地域活性化プロジェクトを実施した。</p> <p>これにより、学生独自のイベントが実施されるなど、地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化プロジェクトの公募・実施 活性化アイデアの応募 67件 入賞アイデアの実施 ・事業報告会の開催 平成25年3月

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	---	------------------

政策	3	芸術・文化・スポーツの振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	14	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 魅力ある文化を創造し、心豊かに生きがいのある生活を送るためには、芸術文化に親しむ機会の充実が必要です。 このため、国内最大級の文化の祭典である国民文化祭を開催するとともに、伝統文化の継承や文化財の保存・活用を進めます。 また、県民が健康で豊かに生きるため、誰でもどこでもスポーツに親しむことのできる環境づくりに努めます。</p>					
	項	目	頁	担当部局	
平成24年度の主な取り組み状況		○ 国民文化祭の開催	P.118	企画県民部	
		○ 県民文化祭の開催	P.118	企画県民部	
		○ 山梨近代人物館（仮称）の整備	P.119	総務部	
		○ 国、県指定文化財保存等に関する取り組みの支援	P.119	教育委員会	
		○ 甲府城跡櫓門の整備	P.119	教育委員会	
		○ 巡回児童劇場及び山梨芸術劇場の実施	P.119	企画県民部	
		○ 県立文化施設の魅力向上	P.120	教育委員会	
		○ 県スポーツ・レクリエーション祭の開催への支援	P.121	教育委員会	
		○ 全国高校総体開催への支援	P.122	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		6,820 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,049 百万円		
	前年度までの事業費		954 百万円		
	本年度の事業費		1,095 百万円		
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県立文化施設（美術館、博物館、考古博物館、文学館）の企画展・イベント等開催件数	516 回 (H22)	564 回 (H26)	540 回 (H24)	50.0
	県営スポーツ公園（小瀬スポーツ公園、富士北麓公園、緑が丘スポーツ公園）の利用者数	988 千人 (H22)	1,027 千人 (H26)	1,054 千人 (H24)	169.2

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 国民文化祭の開催 【国民文化祭課】	芸術文化振興費 (318,438) 318,083	<p>本県の芸術文化活動を活性化し、文化力の向上を図るため、国内最大級の文化の祭典であり、多彩な文化活動の発表や交流の場となる国民文化祭の開催に向けた取り組みを行った。</p> <p>これにより、開催準備と冬のステージの各種イベントを順調に進め、芸術文化活動の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富士の国やまなし国文祭」の準備 国民文化祭山梨県実行委員会等会議の開催 33回 市町村実行委員会の開催 全 27 市町村 事業別実施計画の策定・承認 平成 24 年 7 月 市町村主催事業の支援 79 事業 国民文化祭山梨県実施本部の設置 平成 24 年 10 月 ボランティアスタッフの募集・登録 437 名 等 ・広報・PR活動の強化 PR イベント・キャンペーンの実施 47 回 公式ガイドブック（上半期版）の発行・配布 平成 24 年 12 月 180,000 部 ポスターの制作・掲出 6 種 計約 17,000 枚 テレビCMの制作・放映、新聞への広告掲載 国文祭情報コーナーの設置 平成 24 年 9 月 約 250 箇所 コールセンターの設置 平成 25 年 1 月 マスコットキャラクター「カルチャくん」の小中学校等を訪問してのPRの実施 計 173 回 等 ・「富士の国やまなし国文祭」の開催（冬のステージ） 県主催事業、市町村主催事業等の実施 計 70 イベント 来場者数 120,346 人
2 県民文化祭の開催 【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 (13,753) 12,883	<p>県民の幅広い文化活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造するため、県民総参加の「やまなし県民文化祭」を開催した。</p> <p>これにより、県民文化祭の総参加者数は 24 万 1,796 人に上り、前年度より約 4,100 人増加するなど芸術文化活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合フェスティバル開催 3 事業 平成 24 年 11 月～平成 25 年 2 月 ・部門別フェスティバル開催 24 ジャンル 平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月 ・地域フェスティバルの開催 2 区分 平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 山梨近代偉人館の整備 【管財課】	財産管理費 (4,351) 4,297	<p>県政歴史展示室の整備に合わせ、現在の山梨県発展の礎を築いた「ふるさと山梨の先人」の功績を広く伝える展示施設を整備するため、「山梨県庁舎別館展示施設整備基本計画」を策定した。</p> <p>これにより、展示施設の基本的な考え方や整備内容を示すことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨県庁舎別館展示施設整備基本計画の策定 平成 25 年 3 月 展示施設の名称：(仮称) 山梨近代人物館
4 国・県指定文化財の指定及び保存・活用 【学術文化財課】	文化財保護費 (119,823) 101,166	<p>本県の文化財の保存・活用を推進するため、文化財保護審議会の審議に基づく文化財指定を行うとともに、埋蔵文化財等についての調査や文化財保存等に関する取り組みを支援した。</p> <p>これにより、指定文化財の適切な保存に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 2 回 市町村が行う調査への支援 8 件 国、県指定文化財の保存事業への支援 94 件
5 甲府城跡櫓門の整備 【学術文化財課】	公園費 (167,890) 167,157	<p>県民への歴史教育の充実や甲府市中心市街地の活性化や観光振興につなげるため、甲府城跡の櫓門である鉄門（くろがねもん）の復元整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄門復元工事を実施 (平成 24 年 12 月竣工、平成 25 年 1 月公開) 整備復元に伴う絵図等の学術的調査を実施 甲府城跡櫓門復元検討委員会の開催 委員会 1 回、部会 計 3 回
6 芸術文化の振興 【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 (6,188) 6,144	<p>県内の芸術文化活動を促進するため、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化団体に対して支援した。</p> <p>これにより、担い手の育成や底辺拡大を図るなど芸術文化の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回児童劇場の実施 10 回 山梨芸術劇場の実施 7 回 山梨県芸術文化協会への支援 講習会 8 回 指導者派遣 58 回に助成

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 ミュージアム 甲斐・ネット ワークの推進 【学術文化財課】	—————	<p>県内各地にある博物館や美術館の相互の連携と、利用者のサービス向上を目的に結成したミュージアム甲斐・ネットワークの活動を推進した。</p> <p>これにより、県民文化の更なる向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議の開催 2回
8 県立文化施設の 魅力向上 【学術文化財課】	美術館費 (110,621) 94,366 考古博物館費 (79,777) 70,150 文学館費 (36,131) 30,170 博物館費 (279,194) 260,420	<p>県立美術館等県立文化施設4館において、多彩な展覧会やイベントの開催、博学連携の強化、積極的な情報発信等により、一層の魅力向上に取り組んだ。</p> <p>これにより、多くの県民に学習・鑑賞機会を提供することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展等の開催・充実 4館の来館者 434,743人
9 生涯・地域ス ポーツの推進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (1,728) 1,261	<p>県民の誰もが、生涯にわたり、いつでも、どこでもスポーツに参加できるよう、広域スポーツセンターを活用し、総合型地域スポーツクラブを設立・育成するとともに、県民に必要なスポーツ情報を提供した。</p> <p>これにより、新たに1つのスポーツクラブが設立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域スポーツセンター運営会議の開催 3回 ・総合型スポーツクラブフェスタの開催 平成24年11月 ・スポーツ情報等の提供 「やまなしスポーツ情報ネット」の充実

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 全国高校総体の開催と国体開催に向けた取り組み 【スポーツ健康課】 【全国高校総体推進室】	体育振興費 (8,704) 7,901	<p>心身ともに健全な中学生・高校生を育成するため、平成 26 年度に本県を含む南関東ブロック 4 都県において開催する全国高校総体に向け、山梨県実行委員会を設立するなど、取り組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高校総体開催への支援 <ul style="list-style-type: none"> 山梨県実行委員会の開催 1 回 山梨県生徒実践委員会の開催 1 回 総合ポスター、総体ニュースの作成 平成 24 年度全国高等学校総合体育大会の状況調査
14 県立射撃場の整備 【みどり自然課】 【スポーツ健康課】	体育振興費 (2,441) 2,441 鳥獣管理費 (5,550) 1,592	<p>平成 23 年度新たな県立射撃場の整備について、その必要性や財政状況等を幅広く検討のうえ方針を決定するとともに、必要な代替措置を検討した。</p> <p>これにより、射撃場の整備を当分の間凍結することを決定し、クレー射撃の競技力や鳥獣被害対策に影響が出ないように代替策を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替措置の実施 <ul style="list-style-type: none"> クレー射撃競技練習場確保への支援 延べ 195 名 管理捕獲従事者射撃訓練への支援 357 名

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 スポーツ・レクリエーション祭の開催 【スポーツ健康課】	体育振興費 (4,709) 4,650	<p>県民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみ、交流が深められるよう、県スポーツ・レクリエーション祭の開催に対して支援した。</p> <p>これにより、10市町において19種目の競技が実施され、5,153人が参加したことにより、県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ・レクリエーション祭実行委員会への支援 県スポーツ・レクリエーション祭の開催 平成24年5月
11 ジュニアアスリートの強化 【スポーツ健康課】	体育振興費 (12,300) 11,731	<p>優れた資質を有するジュニア選手の発掘・育成・強化を進めるため、中・長期的展望に立ったジュニア期からの一貫した指導体制の強化に取り組んだ。</p> <p>これにより、指導体制の整備を推進し、ジュニア層の競技力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツタレント発掘・育成・強化 5回 小中学生を対象にスポーツイベント・フェスティバルの開催 指導者育成・強化研修会の開催 7回 より高度で最新の指導技術を習得する技術研修会の開催 競技者育成・強化実技講習会の開催 9回 小中高校生を対象に年齢層に応じた技術・練習方法を習得する講習会の開催
12 スポーツ少年団の育成 【スポーツ健康課】	体育振興費 (856) 743	<p>スポーツ少年団の指導・推進体制を充実させるため、県スポーツ少年大会の開催やリーダーの養成など、スポーツ少年団の育成・強化に取り組んだ。</p> <p>これにより、全体の児童生徒数の減少に伴い、団員数の減少傾向は見られるが、底辺拡大につながる、スポーツ選手育成が推進された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ少年大会の開催 平成24年8月 リーダー養成講習会の開催 5回